

平成25年度取手の芸術活動連携サポート事業

とりでグラント！ 活動レポート

TORIDE GRANT REPORT

事業受託者

特定非営利活動法人
取手アートプロジェクトオフィス

概要・経緯

取手市内で活動するアート団体に対しての活動支援を目的とする本事業では、過去2年間の実施経緯とこれまでの支援団体から寄せられた意見を踏まえ、今年度は団体の選定方法を公募制から指名制に変更して事業を実施した。公募ではなく指名により支援先を絞ることによって、より密度の濃い活動を支援団体に実施してもらうことを意図し、三団体を支援団体として決定した。取手市内ではいくつものアート活動が生まれ、「アートのあるエリア」としての認知度も高まってきている。今後更なる展開をしていく上で、ゆるやかな連帯感を形成するため「ネットワーク」をテーマに設定した。

夏の恒例イベントとして認知されつつあるワークショッププログラム「とりでアートの日。」においても参加団体数をしぼり、個々のプログラムの充実を図った。普段の

参加団体

平成25年度とりでグラント！ 支援団体

- ・actica
- ・SOBASUTA
- ・有限責任事業組合 TRAP

とりでアートの日。参加団体

- ・あーと屋図工室
- ・井野アーティストヴィレッジ
- ・スタジオ航大
- ・取手美術作家展
- ・文化工房ふじしろ

*事業終了後に各団体から集計した報告書をもとに記載する。



団体名

SOBASUTA

事業名

TORIDE CYCLE ART MEETING

概要

取手市内をぐるっと自転車でもわって、取手を再発見するサイクルイベント。自転車での市内の回遊性を検証すると共に、マップ作成や自転車コミュニティを開拓した。取手市内の壁画や野外彫刻のアート巡り、歴史文化巡りなどを開催していく。

活動期間

5月1日(水) 取手一周40km&バンク試走 参加者9名
5月25日(土) 取手一周40km&小さな店の小さな風まつりへGO!参加者6名
6月23日(日) 取手一周40km&取手競輪 ぐるぐる2時間!参加者3名
7月17日(水) トリデ ママチャリ ルート探検隊 参加者5名
7月27日(土) NIGHT LIGHT RIDE ~夏のナイトサイクリング~参加者4名
9月29日(日) 秋の取手サイクリングイベント@藤代アート探索&バンク試走 参加者9名
12月6日(金) アート&サイクルイベント@東京芸大取手校舎に潜入!参加者3名
12月15日(日) サイクルクイズラリー調査団&ぐるっと取手一周40km 参加者4名
平成26年
2月22日(土) キャラクタースタンプラリー&ガールズケイリン観戦ツアー 参加者4名
3月21日(木)
~26日(水) サイクルアートカフェ&春のサイクリング
3月23日(日) 取手一周40km&取手競輪 取手回遊フェイスブック中継企画
3月24日(火) 取手街巡りサイクリング 参加者3名

参加人数

ツアー参加者延べ人数50名 サイクルカフェ来場者約50名

事業効果

今年度の「TORIDE CYCLE ART MEETING」のツアーは計10回開催。利根川、小貝川のサイクリングロードの再検証、市内の文化財や飲食店の再発見をツアー参加者と共に行うことができた。フェイスブックを中心とした募集告知により、遠くは横浜からの参加者もあり、取手を魅力的に感じる良いきっかけとなった。3月24日のツアーで取手市内の壁画をフェイスブックで紹介しながらサイクリングを行ったことから、市内に点在するアートの情報発信の可能性を感じた。今後の展開に生かしていきたい。

課題・
次年度への展開

次年度は、ツアー内容の充実やマップ制作を目標とする。ツアー内容も新規の参加者が参加しやすいイベントを増やし、より多く市内での回遊に関する意見交換ができればと思う。マップの制作は、web等で共有できる仕組みづくりをし、より多くの人に閲覧される展開を考える。取手市内での活動にとどまらず、取手市近隣の自治体への遠征イベントを実施し、リサーチ活動も行う。サイクルイベントを通して、取手市内の文化情報発信を次年度も展開していく。

団体情報

団体名:SOBASUTA 代表者:傍嶋賢
住所:取手市新町1-4-5新町第3ビル2Fオフィスゼロ
電話番号:090-9647-6680
E-mail:v_ganma@hotmail.com
Web:http://sobasuta.juno.bindsite.jp/



団体名

actica

事業名

TORIDE.E.CONTE

概要

取手市にまつわる様々な情報を、TORIDE.E.CONTEのキュレーションによって発信する。ウェブに加えて、新たに実地企画を展開し、取手市の魅力を世界へ投げかける仕掛けを生み出した。主な活動は以下の3つで構成されている。

■「FLAKE」:取手市ゆかりの作家を紹介し、サポートも行うためのポストカード集。

■「LABO」:参加型勉強会。

■「動画作成」:YUSATOによる取手レポート動画。

活動期間

平成25年9月21日～平成26年3月31日

参加人数

「LABO」:60人

「FLAKE」:15人

「動画・ラジオ」:2,800人(視聴者)

「ウェブサイト」:5,000人(訪問者・期間総計)

「SNS」:70人

計:7,945人



事業効果

■「LABO」:アート英語・戦争画・デザイン・マネジメントなど、それぞれの分野で活躍する専門家を取手市に招き、多様な知識を共有する勉強会を全8回開催した。意見交換の時間を設け、来場者に積極的に参加してもらった。取手市内外の参加者(遠くは京都から)延べ合計約60人が参加した。Ustreamによって動画を記録、今後公開していく予定。

■「FLAKE」:取手市にゆかりのある作家たちのさまざまな作品を収集・印刷し、ポストカードセットとして販売を開始した。購入者に向けた「FLAKE」専用ウェブサイトも開設した。アートに特化した取手の魅力を発信するツールであり、取手の特産品の代表となるよう、今後は世界に向けて発信する予定。

■「動画・ラジオ」:ナレーターが独自の視点で捉えた取手の魅力を発信。全14編の動画を用意し、2,000回の視聴回数を得た。フィリピンでの現代アートの展覧会に参加し、映像が上映され、国際的な発信の大きな一歩となった。

■「ウェブサイト」:TORIDE.E.CONTEのウェブサイトの内容を充実し、ブログから専用サイトへの格上げを行った。

■「展覧会」:ギャラリーカフェ OMONMA TENTにて、FLAKE販売開始記念を兼ねて、一年の活動を紹介する展覧会を開催。取手市のアート活動の最初期から関わってきた関係者や住民との意見交換会も行った。

■「SNS」:フェイスブックページの開設。広報範囲の拡大。

課題・

■「FLAKE」:販路の拡大、特産品としての認知度の向上、より多くの作家を巻き込んでのシリーズ化を目指す。

次年度への展開

■「LABO」:これまでの勉強会のアーカイブ資料を作成、継続可能とするための収支計算、取手市内外の人々が積極的に参加するための広報媒体への働きかけなどを整備する。

■「動画作成」:視聴率の向上、動画クオリティの向上(機材費の確保)。

■全体:世界展開も視野に入れるため、ウェブサイトの英語化を行う。アーカイブの充実、他団体との連携などで、認知範囲の更なる拡大を目指す。

団体情報

団体名:actica 代表者:actica

住所:茨城県取手市井野団地3-16-104

電話番号:080-4437-6729

E-mail:toride.e.conte@gmail.com



団体名

有限責任事業組合TRAP

事業名

TORIDE MUSEUM 15日間だけの美術館

概要

取手の美術発展に貢献してきたベテランアーティストを集結した、期間限定の展覧会を市内にあるとりでアートギャラリー“きらり”にて開催。物故作家3名を含む計11人、23作品を展示。ジャンルは洋画、日本画、彫刻、工芸、版画と多岐にわたる展覧会をキュレーション、開催した。展覧会開催の目的は、取手のまちの自慢できるアーティストやアート活動を市民に知ってもらうこと。さらに、市民が求めているアート活動が何であるかを検証、実施すること。

活動期間

平成26年2月16日(日)～3月2日(日)

参加人数

1,810人/入場者数 8人/参加アーティスト数

事業効果

事業の成果として一番比較しやすいのは入場者数と考え、当初2,000人に目標を設定。入場者数は1,810人という結果であり目標に少し欠けたが、“きらり”での企画展では非常に多い入場者数であった。また、メディアの反応もよく広報とりではじめ新聞4社、コミュニティー紙1社、ラジオ局2社に取り上げられた。美術館という言葉を展覧会名にしたことで、多くの人に企画が分かりやすく、伝わりやすかった結果と考えられる。また、質の高いアーティストの作品を鑑賞したいという多くの市民の欲求にマッチした企画であり、力のあるアーティストの大作を多く鑑賞する機会を提供できたことは、取手市民のニーズに応えることのできるアート活動であったと思われる。また参加してくれたアーティストにとっても待ちに待ったような企画であり、非常に意欲的に参加してくれた。10万という低い助成金額ではあるが、非常に有意義な使い方ができた。

課題・次年度への展開

自己負担金の方が大きく、企画者としては非常に厳しい予算での開催となったため、持続可能な活動をする場合には資金繰りが課題となる。取手市の助成金でまかなわれるべき取手の美術展の開催であったが、取手市にて10万円以上の助成金が見込めないのであれば、別途資金獲得の仕組みを作る必要がある。また、今回はなるべく取手市の管理している施設にて展覧会を開催することに意味があると考え、“きらり”を使用した、美術作品の展示に不向きな環境であったという鑑賞者からの指摘が相次いだ。作家たちは“きらり”の空間を知っているので、さほど抵抗はなかったが、これを機に、もう少し市内における美術展に向く環境づくりを提案したい。

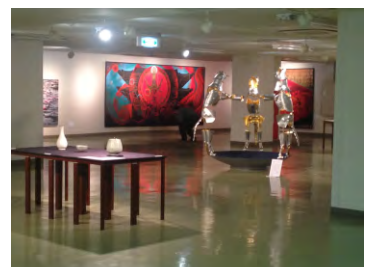
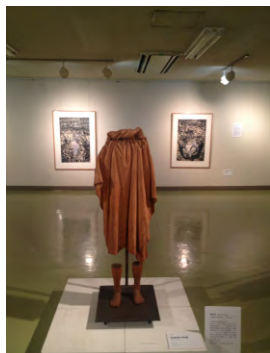
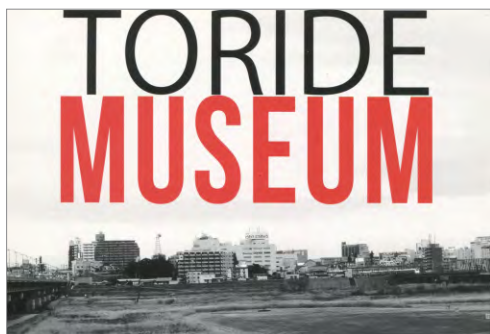
団体情報

団体名:有限責任事業組合TRAP 代表者:福田なな

住所:茨城県取手市小文間4154-4

電話番号:0297-72-9911

E-mail:trap-office@hotmail.co.jp



ワークショップレポート

「とりでアートの日。」開催ワークショップ一覧

小さな水族館「アクアリウム」を作ろう

日時：8月3日(土) [a] 14時～15時30分 [b] 16時～17時30分

講師：浅野純人(美術家/あーと屋図工室)

参加人数：36人

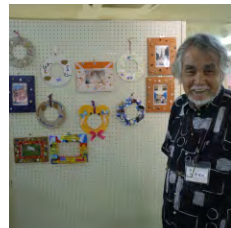


可伸さんと遊ぼう「段ボールがへんし〜ん!いろいろな壁飾り」

日時：8月8日(木) 10時～12時

講師：田中可伸(洋画家/文化工房ふじしろ)

参加人数：13人



陶芸で作るMy食器

日時：8月9日(金) 14時～16時

講師：田村洋介(陶芸家/スタジオ航大)

参加人数：20人



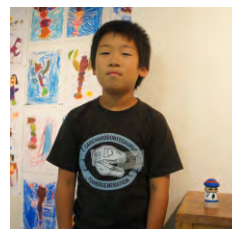
世界に一つだけのオリジナルアートトイを作ろう!

日時：8月17日(土) 13時～17時

講師：倉田康平(トイクリエイター)、加藤久美子(美術家/井野アーティストヴィレッジ)

団体名：キノコピレッジ

参加人数：15人



ぶんぶんごまを作ってあそぼう

日時：8月21日(水) 10時～12時

講師：奈良榮子(洋画家/取手美術作家展)

参加人数：16人

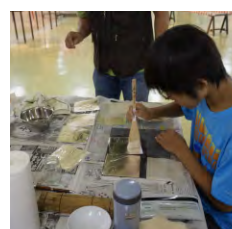


日本画の美に触れる伝統技術体験講座 “箔を張る”

日時：8月22日(木) 10時～16時 *昼休み1時間含む

講師：間根山英明(日本画家/文化工房ふじしろ)

参加人数：6人



会場：とりでアートギャラリーきらり(取手市新町2-1-31)

事業総括

平成24年度までの反省を踏まえ、大幅に団体選定の部分を見直した「とりでグラント!」では、各団体の事業実施だけでなく、全体の事業開始前と終了後に意見交換会を企画した。事業を把握するだけでなく、相互に意見を交わすことで、関係性の強化につながったと考えている。結果として、連携事業が生まれたケースもあり、またアイデア段階に留まる場合もあったが、連携の気運が生み出された。一方で今回のテーマである「ネットワーク」について、その解釈を支援団体側に頼りすぎてしまった反省が残る。適切な距離感を保ちつつ、自主性を尊重したいと考えたが、考えが伝わりきらなかった。各団体の選定について、それぞれの表現方法・活動の手法も異なり、展覧会、ツアー、勉強会、商品開発など、バリエーションに富んでいたことはとても良かったと感じている。色んなチャンネルが存在することによって、必ずしも参加者が意図的にアートイベントに参加していなかった場合でも、結果としてアートの体験を得られたのであれば、入り口はアートでなくても良いし、むしろその方が、取手の場合にはニーズに合致していると言えるかもしれない。「とりでアートの日。」では例年よりも参加団体数を絞り、一つ一つのプログラムの充実を図った。どのプログラムも普段の生活では経験することのできない内容が経験できたと、参加者から好評を得た。中でも、「陶芸で作るMy食器」はより多くの評価を集めていた。一方で、実施を経て課題の見えるプログラムもあり、企画の内容と、今後のブラッシュアップは次年度以降の課題である。予算が決して潤沢にあるとは言えない状況で、今回の事業を引き受け、最後まで実施していただいた各団体の方々には本当に感謝している。今後も継続して活動を続けられるよう、最大限の支援を提供することができる基盤を整備していきたい。

特定非営利活動法人 取手アートプロジェクトオフィス 事務局/理事 奥村圭二郎



TORIDE ART PROJECT

お問い合わせ

事業実施者

特定非営利活動法人

取手アートプロジェクトオフィス

〒302-0024 茨城県取手市新町2-5-5 2階

TEL/FAX: 0297-72-0177

(TELのみ: 火・金 13:00~17:00)

E-mail: tap-info@toride-ap.gr.jp

Web: <http://www.toride-ap.gr.jp/>